

令和4年6月27日

総合政策局公共事業企画調整課

## 宇宙無人建設革新技術開発推進事業 第1回全体実務会議（開催案内）

～ 今年度の技術研究開発のキックオフ ～

「宇宙開発利用加速化戦略プログラム」（スターダストプログラム）の一環の「宇宙無人建設革新技術開発推進事業」（国交省及び文科省連携）の今年度の第1回全体実務会議を開催します。

近い将来の月面での建設活動を目指し、地上の建設技術の基盤技術の確立に向けた研究開発として、今年度の主要な課題が決定しましたので、産学官の関係者が一堂に会し、個々の研究開発とともに事業全体の推進を図ります。

- 日時： 令和4年6月28日（火）午前10～12時
- 場所： TKP 新橋カンファレンスセンター 12階 ホール12E  
（東京都千代田区内幸町1丁目3-1）
- 参加者： 無人建設革新技術開発推進協議会委員、研究開発実施者 [別紙1]
- 次第： 委員長挨拶、委員紹介、事業全体説明、個別研究開発説明、推進方策意見交換

（※ 会議は原則非公開ですが、報道関係者は、冒頭から事業全体説明まで参加可能です。  
参加希望者は、6月27日18:00までに、下記問い合わせ先にご連絡ください。）



【問い合わせ先】 総合政策局 公共事業企画調整課  
企画専門官 増、課長補佐 味田、施工企画係長 金森  
E-mail: [hqt-unmanned\\_constr@mlit.go.jp](mailto:hqt-unmanned_constr@mlit.go.jp) 課直通：03-5253-8285or8286

## ◆無人建設革新技術開発推進協議会 委員名簿 (敬称略 20220622 時点)

## (学識者)

石上 玄也 慶應義塾大学 理工学部機械工学科 准教授  
 諸田 智克 東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻 准教授  
 松尾 亜紀子 慶應義塾大学 理工学部 教授

## (研究者)

山口 崇 土木研究所 技術推進本部 上席研究員  
 永井 直樹 宇宙航空研究開発機構 国際宇宙探査センター事業推進室長  
 坂下 哲也 宇宙航空研究開発機構 宇宙探査イノベーションハブ 副ハブ長

## (行政)

森戸 義貴 国土交通省 大臣官房 技術調査課長  
 岩見 吉輝 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長  
 国分 政秀 文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 宇宙利用推進室長  
 笠間 太介 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 企画官

## ◆令和 4 年度 宇宙無人建設革新技術開発推進事業 研究開発実施者

研究開発実施者 (○代表者、共同実施者)	技術研究開発名称
○鹿島建設 宇宙航空研究開発機構、芝浦工業大学	建設環境に適応する自律遠隔施工技術の開発 一次世代施工システムの宇宙適用
○清水建設 ボッシュ	自律施工のための環境認識基盤システムの開発及び自律施工の実証
○小松製作所	デジタルツイン技術を活用した、月面環境に適応する建設機械実現のための研究開発
○立命館大学 芝浦工業大学、東京大学、海上・港湾・航空技術研究所、アジア航測、基礎地盤コンサルタンツ、ソイルロックアンドエンジニアリング	月面の 3 次元地質地盤図を作成するための測量・地盤調査法
○熊谷組 住友林業、光洋機械産業、加藤製作所、工学院大学	索道技術を利用した災害対応運搬技術の開発
○技研製作所	回転切削圧入の施工データを利用した、月面建設の合理的な設計施工プロセスの提案と評価
○清水建設 太陽工業、東京理科大学	月面インフレータブル居住モジュールの地上実証モデル構築
○大林組 宇宙航空研究開発機構、室蘭工業大学、サカセ・アドテック	月面における展開構造物の要件定義および無人設営検討の技術開発
○大林組 名古屋工業大学、レーザー技術総合研究所	月資源を用いた拠点基地建設材料の製造と施工方法の技術開発
○早稲田大学 東京理科大学	コア用・シェル用の 3D プリント技術の開発と高強度梁の作製技術開発